

山歩き

2011年
8月6日(土)〜10日(水)

遥かなる山頂を目指し...

北アルプスへ



鷲羽岳2924mにて

【山名・地域】北アルプス(富山県・岐阜県・長野県)
 【登山の形態】山小屋泊り(4泊5日)
 【コースタイム】「1日目」高瀬ダム→湯俣温泉・晴嵐荘着 「2日目」晴嵐荘→真砂岳→水晶小屋着 「3日目」小屋→水晶岳→鷲羽岳→三俣連華岳→双六岳→双六小屋着 「4日目」小屋→笠ヶ岳→わさび平小屋着 「5日目」わさび平小屋発→しんほだかおんせん着
 【エネルギー】85% 【危険難易度】40%
 【歩行距離】52km 上昇+3500m 下降-4050m
 【登山道の状況】標識はあり危険な崖やクサリ場もないので安全ではあるが、距離が長いので体力勝負となる。何分3千m級の高所であるため、高度障害や天候の変化にも注意する必要がある。
 ▼メンバー 長尾敏郎「リーダー」、原田大治、龍真佐子、中ノ森賢二の4名

「リーダーの一言」
 山人会の長尾です。今回は日本アルプスの中でも最もポピュラーなコースである北アルプスを山歩きしてみました。3kmの山々が連なるこのコースは、雄大な山並みに青い空、白い雲と雪渓が映え、素晴らしい景観を見せてくれます。それでは、今日も元気にLet's Go!

今日は朝3時40分に出発、稜線上に出ると深い紺色の空間に槍ヶ岳のシルエットが浮かんでいる。その槍ヶ岳をほんとは小ツツな光の点が蠢いている。槍ヶ岳にも登山者のご来光を目当てに登っているようだ。「アルプス二万尺、小槍の上でアルペン踊りを踊りましょうーララララ...」

早朝、まだ陽が射していないシルエットの槍ヶ岳、天を突き刺すような山容はアルプスのシンボル

今回は雷鳥に5回も出会うことができた。雷鳥は子砂利を寄せ集め体をモジモジさせて体についた羽虫を駆除しているようです。この小砂溜りができる登山道というものは羽虫を取り除く最適の場になっているでしょう。写真は雄(ちよとデブツチョ)で、別に雌を3羽連れていました。雌3羽が砂のお風呂でこすりこすりしている。とウロウロしていた雄は「グツ！」と一括し、雌が慌てて退いて雄に場を譲る。これを見て我々男三人衆は「オー！男ノ鏡デアルゾ」「雷鳥ニナリタイ」と叶うことも無い人間の偉い希望を抱きつつ登山を再開。

▼双六岳2860m、なだらかで牧歌的な雰囲気がある山です。



特別天然記念物のライチョウに遭遇



鷲羽岳2924mからの長い下り坂

▼三俣連華岳2841m 天気良すぎてサングラスを装着



▼双六小屋にて、山を眺めながら



▼山小屋の夕食、天ぷらと煮っ転がしデス



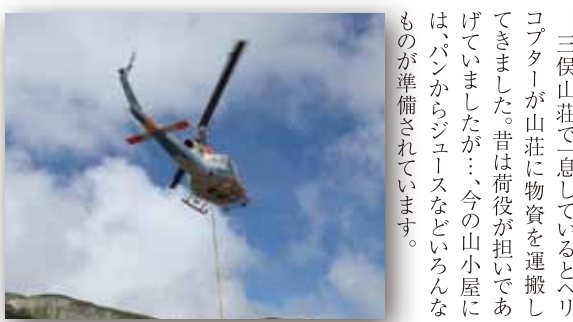
▼秩父平にて



▲風車になる前のチングルマの花



美しい自然の... 左は、水晶岳2977mの山頂から撮った早朝のアルプスの眺めです。彼方に雲から突き出た槍ヶ岳、穂高岳連山が見えます。山の斜面には残り雪(雪渓)も確認できます。



三俣山荘で一息しているとヘリコプターが山荘に物資を運搬してきました。昔は荷役が担いであげていましたが、今の山小屋には、パンからジュースなどいろんなものが準備されています。



▲ヘリのプロペラは止まって写っていますが、実際はヒュンヒュン回っています!

右の植物はチングルマの花の後、この花は白と黄色の花びらのもとも可愛いけれど、花が散った後、この風車のような愛らしい姿に登山者は魅せられるようです。



▼登頂しての握手は山人会の慣例デス!



大川山人会会長 長尾敏郎

山行予定

平成23年11月20日	源流探索「宝満山」
平成23年12月11日	忘年登山「英山〜黒髪山」
平成24年1月22日	霧氷観賞登山「由布岳」

※参加ご希望の方は、山人会事務局までお気軽にお問い合わせください。

▶事務局・事務所
 大川市大字向島 坂井方 ☎0944・87・8645
 事務所 松林方 ☎0944・86・3632 FAX 0944・86・6203

▲空と稜線、雲、雪渓...